



横浜市街

横浜駅

本町通

神奈川県庁

豊国橋（関内）



公園



棧橋



# 横浜・横須賀・鎌倉の被災状況

八幡様の拝殿は滅茶滅茶に崩れ、石段の上の隨身門は屋根を真正面横に倒して、石段の上ったところを銅の扉のように塞いでいた。大仏は一尺足らず台座を動きだしたそうである。  
久米正雄「鎌倉の三災を免れて」（『婦女界』1923.10）

鎌倉



長谷



その時寄せて来た波は、坂の下一帯から、長谷の海水浴旅館海月、大正館などと言う大きな家々を、潰れて各々二十人近い人を下敷にしたまま、一旦海中へ持って行って、そして又打上げた。後で行ってみると、滅茶滅茶に積み重なった流木めいた堆積の上に、それらの家の屋根だけが載っていた。

久米正雄「鎌倉の三災を免れて」（『婦女界』1923.10）

横須賀



葉山



鎌倉では山階宮妃佐紀子女王殿下が御圧死になり、閑院宮寛子女王殿下が小田原の御用邸の倒れいで、東久邇宮師王殿下がくげ沼で、それぞれ御惨死なされたのはまことにおんいたわしい限りです。

鈴木三重吉「大震災災記」（『鈴木三重吉全集 第5巻』）